

令和3年 第11回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和3年 第11回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和3年11月17日(水) 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 **【教育長・教育委員】**  
 西田教育長、今門代表教育委員、畠山委員、片山委員、小林委員  
**【事務局】**  
 迫田教育局長  
 (企画総務課) 川邊課長、井上補佐、川崎室長、吉瀬主幹、  
 河野主事  
 (学校施設課) 河野課長  
 (学校教育課) 牧野課長、田中補佐、永峰補佐  
 (教育情報研修センター) 堀之内所長、岩崎次長  
 (生涯学習課) 中野課長  
 (保健給食課) 大賀課長  
 (文化財課) 白坂課長、久保補佐  
 (スポーツランド推進課) 栗原補佐、金丸主事  
 (地域コミュニティ課) 富田課長、小林係長

4 議 案

番号	件名	説明者
議案第32号	宮崎市交流センター条例の一部改正の原案について	地域コミュニティ課長
議案第33号	令和3年度一般会計補正予算案の原案について	教育局長 学校施設課長 学校教育課長 教育情報研修センター所長 保健給食課長
議案第34号	宮崎市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について	企画総務課長
議案第35号	宮崎市立学校管理規則の一部改正について	学校教育課長
議案第36号	宮崎市立幼稚園規則の一部改正について	学校教育課長
議案第37号	令和4年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について	学校教育課長
議案第38号	令和4年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について	学校教育課長

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第40号	生目台地区小中学校に関する要望書等の提出の報告について	企画総務課長
報告第41号	事故等の報告について	学校教育課長
報告第42号	専決処分の報告について	教育情報研修センター所長
報告第43号	専決処分の報告について	教育情報研修センター所長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第11回教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の傍聴者は、ありません。</p> <p>それでは、会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、畠山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。</p> <p>「(1) 教育長報告」ですが、記載のとおりです。</p> <p>次に、「(2) 委員報告」です。11月8日に開催されました「宮崎市総合教育会議」の感想をそれぞれお聞きしたいと思います。それでは、畠山教育委員からお願いします。</p>
畠山教育委員	<p>教育C I Oの神野元基さんをお迎えして、充実した総合教育会議となりました。赤江中学校や大宮中学校でのタブレットを使った授業の様子などを動画で拝見し、誇らしく思ったところでした。</p> <p>教育に関するI C T活用は、課題が多いと思いますが、やはりこれからデジタル社会を迎えるので、必要なツールとなってきます。今までの学びに加えて、I C Tを活用できるというのは、期待が大きいなと思ったところでした。</p> <p>そして、メディア教育、情報モラルに関する教育に合わせて、道徳教育もきちんと学校教育の中に取り入れ、家庭や地域と連携しながら子どもたちを育てていくことが、これまで以上に大事になるかと思えます。</p> <p>G I G Aスクール構想において、誰も取り残さずに、一人ひとりの子どもたちのスピードにあった、個別最適な学びと、協働的な学びを大事にして、これからも児童生徒にとって前途洋々の学校となるように、期待を抱いた会議でした。</p>
小林教育委員	<p>私は初めて総合教育会議へ参加したので、緊張もありました。</p> <p>会としては、関係各所の方々の丁寧にまとめられた報告があり、具体的な数値を示されていたので、根拠が明確にされた議論が活発にできたのではないかと思います。</p> <p>また、「いじめ、不登校対策へのI C T活用」のテーマでは、戸敷</p>

	<p>市長からも高く評価されましたが、この取組は、どの自治体もやりたいと思っけていても、模索している段階が続いている状況なのではないかと思ひます。そこを、宮崎市のような大きな自治体の中で、組織的に運用されてることは、非常に興味関心の高いお話でした。そして、先日、宮崎大学での授業の中でも、宮崎日日新聞に掲載された総合教育会議の記事を学生と皆で見ました。約150人程度の学生全員に、ロイロノートで記事にアクセスをさせて、感想を書いてもらいました。「タブレット端末が整備されてからの短期間で、ここまで具体的な取組ができるんだ」というような感想があり、学生たち自身も小中学生の頃には受けた事のない新しい教育のスタイルに、期待と関心が高くなったようでした。</p> <p>一方で、現在、県立の高等学校では、これからのGIGAスクールとして、「BYOD」という、「個人のスマホも含め、タブレット端末を自由に持ち込む方式」を検討しています。そこを先取りした小中学校の義務教育の取組としての関心の高さと、宮崎市は県の中でも先導して取り組んでいる組織だということは、今後も様々なところから、注目されるだろうと思っけたところですよ。</p> <p>最後に、総合教育会議の関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げたいと思ひます。</p>
片山教育委員	<p>私も今回が初めての総合教育会議への参加でしたので、開始前から緊張していました。</p> <p>まず、「いじめ、不登校対策へのICT活用」というテーマのなかで、タブレットを活用した不登校児童生徒数の割合が55.2%もいると聞いたときに、今後も期待ができると思ひました。それと同時に、残りの45%の背景も、分析していくことで対策も見えてくるのではないかと思っけたところですよ。先日、テレビの番組でも、テーマパークの経営をV字回復させたという方が「熱い想いだけでは成功しない。数字を出さないと成功しない。」ということをおかれていて、数字として結果を出すことも大事なのだと心に響きました。</p> <p>それと、タブレットの持ち帰りについてですが、保護者の立場からすると、「家に持ち帰ると、子どもが長時間使ってしまうので持ち帰らせたくない」という意見もあります。しかし、これからの時代は、ICTを活用してネットに繋がっている世界の中で生きていく子どもたちですよ。タブレットの使用を制限して、使わせないと方向ではなく、家庭で使っていけるようにルール作りができたらいと思ひました。ただ、家庭の現状として、小さい兄弟がいたりすると、タブレットを触ってしまったたりなど、様々な課題があると思ひますので、より学校と家庭が連携し、子どもの意見も取り入れながら、一緒に方法を考えていくことが本当に大事なかなと思っけています。</p>
今門代表教育委員	<p>今までの委員の皆さんの感想と重なる部分もあるかと思ひますが、6点にまとめました。</p> <p>まず、1点目は、大変よいテーマだったのではないかと思っけています。タブレットが6月に導入されたばかりということで、学校現場ではどのように使われているのか宮崎市民も大変関心が高いところだったのではないのでしょうか。まさに機を得たテーマだったと思ひます。</p> <p>2点目は、会議の流れをしっかりと構成していただいたことで、意見が出やすかったということですよ。最初に、私たちが実際に訪問した学</p>

	<p>校の話をする事ができたので、導入がスムーズにいき、そして、今の学校の様子が、市長にもよく伝わったのではないかと思います。</p> <p>3点目は、資料がとても分かりやすかったということです。本来であれば何時間もかかるであろう説明を、短時間で説明していただきましたが、非常にすっきりと理解ができたと思っています。そして、不登校児童生徒のタブレット活用の状況については大変驚きました。学校の取組も素晴らしいですし、それをデータとしてよくまとめあげられていたと思いました。</p> <p>4点目は、子どもの可能性は無限大だということです。タブレット操作に慣れている子どもは、苦手な子どもに教えてあげたりしていて、ほとんどの児童生徒があまりストレスを感じずに、タブレットを操作していると思います。授業で使ったのは3ヶ月ぐらいということですが、3ヶ月とは思えないスピードで、タブレットの活用をされていて、子どもたちには様々な可能性があると感じました。「日々勉強、一生勉強」ということで、自分たち自身が高みを目指して、子どもの無限の可能性を止めないようにしなければなりません。もしかすると、大人より子どもの方がタブレットの活用は得意なのかもしれないと感じ、私自信も、積極的にタブレットに触れながら勉強していきたいです。</p> <p>5番目は、様々な学校の取組を知り、校長先生をはじめ、先生方の努力はやはりすごいと思いました。ICT操作が苦手な先生もいらっしやるとは思いますが、そういった先生も一生懸命に取り組んでおられるので、子どもたちはその熱意に動かされているのだと思います。そのような意味でも、学校には感謝をしたいですし、先生方には、最大限のエールを送りたいなと思っています。</p> <p>6点目は、教育CIOの神野さんについてです。会議の後に少し話をさせていただいたのですが、「宮崎市の生徒と話をするのがとても楽しい」と話されていました。神野さんは、非常に知識が豊富で、難しいこともすごく詳しい方だと思うのですが、誰にでも親しみやすく、分かりやすく、話をされていて、人柄も素晴らしいと感じました。そのような人だからこそ、宮崎の子どもたちも質問もしやすく、親しみをもてるのだと思います。これからの宮崎市により影響を与えてくださる人だなと確信をしたところです。</p> <p>最後に、事務局の皆様、様々な準備をしていただき本当にありがとうございました。</p>
西田教育長	<p>委員の皆さんの感想でも言われたとおり、事務局の皆さんがしっかり準備していただいたおかげです。ありがとうございました。</p> <p>また、明日は、「地域・家庭・学校と教育委員会との意見交換会」でも今回の総合教育会議の内容を絡めた協議があります。また皆さんと様々な勉強をしながら、課題を見据えてやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p> <p>次に、「(3) 教育局長報告」ですが、記載のとおりです。</p> <p>続きまして、(4) 各課行事報告等はこちらに記載のとおりです。</p> <p>これまでの報告に対する質問や、各行事に参加された委員の方でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いします。</p>
委員	なし。
西田教育長	それでは、会次第「4 議事」に入らせていただく前に、進行の都

	<p>合上、資料18ページ「5 その他」の報告事項「トップアスリート発掘・育成事業 第5期生選考について」、スポーツランド推進課長補佐から説明をお願いします。</p>
<p>栞原スポーツランド推進課長補佐</p>	<p>「トップアスリート発掘・育成事業 第5期生選考について」説明します。</p> <p>まず、「1 事業目的」です。本事業は、2027年に宮崎県で開催予定の国民スポーツ大会を見据え、将来的に全国規模の大会等で活躍できる選手を、本市から、発掘・育成することを目的に、平成28年度より、実施しています。なお、現在大会の名称は「国民体育大会」略称「国体」で親しまれてきましたが、2024年の佐賀大会から「国民スポーツ大会」、略称「国スポ」へ変更となることが決定しています。</p> <p>次に、「2 事業概要」です。小学校4年生から6年生の児童を対象に、各学校で実施される新体力テストの成績による一次選考と、運動適正テストによる二次選考をもとに、育成選手の認定を行います。予定では、中学3年生までの間、月1回程度、体幹トレーニングや、教育体験プログラム、保護者を対象にした栄養学校などを実施していきます。</p> <p>平成28年度の1期生が65名。2期生からは、4年生20名、5年生、6年生がそれぞれ10名ずつの計40名を目安に、これまで197名を認定しています。</p> <p>ただし、昨年度は、新型コロナウイルスの影響等により、各小学校の新体力テストが実施できず、選考ができませんでしたので、昨年度の認定予定人数を上乗せして、第5期生として今年度認定することとしています。現在の登録選手数は、中学校を卒業した選手を除き、133名です。</p> <p>次に、「3 一次選考」です。</p> <p>まず、「(1) 選考基準」ですが、各学校から県に提出された、新体力テストの結果をもとに、成績上位者を選考するほか、加算枠として、新体力テストの結果がA判定の児童うち、身長が高い児童を、全体の1割程度選考しています。選考人数は約280名を予定しています。</p> <p>次に、「(2) 結果通知」については、今週初めに学校長を通じて、対象児童と保護者へ二次選考の案内を送付し、参加承諾書の提出をお願いします。</p> <p>次に、「4 二次選考」です。承諾いただいた児童を対象に、12月18日に運動適正テストを行い、その結果をもとに、第5期生として70名程度を認定することとしています。結果の通知を、来月下旬頃に予定をしています。さらに、令和4年1月に、第5期生の認定式と、現在の育成選手と一緒に1回目のトレーニングを行い、活動をスタートしていきます。なお、事業全体のフローについては、「2 事業概要」の図のとおりです。説明は以上です。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明に対して、ご質問はございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>なし。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>ないようでしたら、「4 議事」に入らせていただきます。2ページをご覧ください。本日、議案が7件です。</p> <p>はじめに、議案第32号「宮崎市交流センター条例の一部改正の原案について」、議案第33号「令和3年度一般会計補正予算案の原案</p>

	について」ですが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開とします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除します。 続きまして、5ページをお開きください。議案第34号「宮崎市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	<p>議案第34号「宮崎市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について」です。</p> <p>本件については、提案理由にあるとおり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第26条第1項の規定によりまして、教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成するためにお諮りするものです。</p> <p>別冊の「令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（案）」をご覧ください。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、9月末に予定していた点検・評価会議をやむなく中止し、書面にて教育委員の皆様、そして学識経験者として宮崎公立大学の野崎教授、宮崎市PTA協議会の岡本会長にご意見をいただきました。それを踏まえまして、数度の修正を行い、最終報告書案を作成しています。</p> <p>目次をご覧ください。</p> <p>「1 教育委員会の活動に関すること」、「2 教育委員会が管理執行する事務に関すること」については、それぞれの点検項目ごとに点検した内容を記載し、総括でまとめとしています。</p> <p>「3 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等に関すること」については、第二次宮崎市教育ビジョンに掲げるもののほか、新たに取り組むべき重点項目に関して、課題を整理し、その課題を踏まえた、次年度以降の見解を記載しています。なお、委員の皆様からいただいたご意見については、「(3) 教育委員会が管理執行する事務を教育長に委任する事務等に関する意見」の78ページ、79ページに記載をしています。</p> <p>次に、80ページをご覧ください。「4 宮崎市教育委員会の総合評価」です。</p> <p>(1) にありますとおり、全体を通しての意見として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、コロナ禍という大変多忙な中での報告書の作成は、苦労が大きい作業であったと察する。一方で、大変な作業であるからこそ、報告書の作成自体が目的化しないよう、本報告書の存在が業務の中で日々振り返る目標や道しるべとして活用されたい。」</li> <li>・「宮崎市版「未来の教室」教育戦略デザイン会議」の構築など、新たな取組やチャレンジがなされている。各方面の取組が生かされるよう期待する。</li> <li>・「次年度以降の展開」を考える中で、コロナ禍でどのように工夫、修正していくかということの考察が求められる。また、コロナ禍で実施できなかった事業が多々あり、その整理は必要である。</li> <li>・教育の人材確保は、子ども達にとって手厚い教育環境の提供になり、</li> </ul>

	<p>未来を担うための基盤となる小中学校時代にとって必要である。子ども達にお金をかけることは、将来の日本を救うことになる。今後も引き続き、県と連携していただくとともに、地域の力をいかに活用できるかの検討を進めていただきたい。</p> <p>以上のご意見をいただきました。</p> <p>「(2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響」では、今後、学校教育においては、新型コロナウイルス感染症に適応した生活を続けていかなければならないことが予想されることから、新型コロナウイルス感染症の教育施策への影響を整理するとともに、第二次宮崎市教育ビジョンに示す指標や取組についても、臨機応変かつ積極的に推進していく必要があることを記載しました。</p> <p>最後に、「(3) まとめ」として、令和2年度の主な取組や成果、コミュニティ・スクールの推進について記載をし、教育委員会では、今後も引き続き、一丸となって、未来の担い手となる子どもたちへのよりよい教育のため、課題解決に取り組んでいくこと。また、この点検・評価を、教育ビジョンの単なる進捗確認にとどめることなく、次の施策につなげるため、実りあるものになるように、真摯に取り組んでいくことを記載しています。</p> <p>この報告書については、本日ご承認をいただけましたら、市議会へ配布するとともに市ホームページ等で公表する形としています。説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいま説明のありました、議案第34号について、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、議案第34号「宮崎市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について」、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。 次に、議案第35号「宮崎市立学校管理規則の一部改正について」、議案第36号「宮崎市立幼稚園規則の一部改正について」は関連しますので、一括して事務局から説明をお願いします。
牧野学校教育課長	<p>まず、議案第35号「宮崎市立学校管理規則の一部改正について」説明します。資料6ページ及び7ページをご覧ください。</p> <p>本市では、新学習指導要領による授業時数増加への対応のため、休業日の変更に向けて、平成30年度から今年度までは、試行期間として運営していました。</p> <p>本議案は、7ページのとおり、学校の休業日の変更に伴い、所要の改正を行うものです。これらの改正を行う理由として3点あります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年に告示された小学校学習指導要領において年間総授業時数が増加したことにより、授業日数を確保するため。</li> <li>・年度当初に、「幼保小」や「小中学校」の連携・接続を行う際に、校内の指導体制の確立を行うための十分な時間を確保するため。</li> <li>・全ての学校でエアコンの整備が進んでいるため。</li> </ul> <p>以上の視点を踏まえ、小中学校の校長会とも協議をしたうえで審議してきました。</p> <p>それでは、内容について説明をします。資料8ページをご覧ください。</p>



	<p>まず、春季休業については、従来と比べて1日増え、4月1日から起算して前号に掲げる日（日曜日及び土曜日）を除いた5日間としています。</p> <p>夏季休業については、現行と比較して、5日減り、7月23日から8月24日までとしています。秋季休業については、変更はございません。</p> <p>冬季休業については、1日減り、12月25日から翌年1月5日までとしています。学年末休業については、変更はございません。これらによって、試行前の管理規則と比較すると、全体で5日間の授業日数の増加を次年度以降行うこととしています。</p> <p>また、休業日の改正に伴い、小中学校の入学式については、4月12日までにを行うものと変更します。</p> <p>続いて、9ページ、議案第36号、宮崎市立幼稚園規則の一部改正についてご説明します。先ほどの8ページの学校管理規則の変更に連動しています。10ページをご覧ください。小中学校の入学式の期日を1日後ろにずらしたことに伴い、幼稚園の入園式についても1日ずらして、4月13日までにを行うものとします。説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいま説明のありました、議案第35号、議案第36号について、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようですので、まず、議案第35号「宮崎市立学校管理規則の一部改正について」、ご承認いただけますか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。 続いて、議案第36号「宮崎市立幼稚園規則の一部改正について」、ご承認いただけますか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。 続いて、議案第37号「令和4年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について」と、議案第38号「令和4年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について」は関連しますので一括して事務局から説明をお願いします。
牧野学校教育課長	<p>議案第37号「令和4年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について」説明します。資料11ページをご覧ください。</p> <p>本議案は、先ほどご承認いただいた議案第35号「宮崎市立学校管理規則の一部改正について」の改正後の規則を根拠とし、次年度の小学校の入学式を令和4年4月12日の火曜日、中学校の入学式を令和4年4月11日の月曜日とするものです。</p> <p>続いて、資料12ページをご覧ください。議案第38号「令和4年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について」説明します。</p> <p>本議案は、先ほどご承認いただいた議案第36号「宮崎市立幼稚園規則の一部改正について」の改正後の規則を根拠とし、次年度の幼稚園の入園式を令和4年4月13日の水曜日とするものです。また、お手元に、議案第35号から38号の変更を反映させた、令和4年度の学校暦をご参考にお配りしています。説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいま説明のありました、議案第37号、議案第38号について、ご質問はございませんか。
委員	なし。

西田教育長	質問がないようでしたら、議案第37号「令和4年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について」、ご承認いただけますか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。 続いて、議案第38号「令和4年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について」、ご承認いただけますか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。以上で、議案は全て承認されました。続いて、13ページをご覧ください。本日、報告が4件があります。はじめに、報告第40号「生目台地区小中学校に関する要望書等の提出の報告について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	資料14ページ、報告第40号「生目台地区小中学校に関する要望書等の提出について」です。 市長に対し、生目台地区の各団体から要望書並びに提言書の提出がありましたのでご報告します。 要望書と提言書は、配付している資料の、報告第40号別紙1から3になります。 要望書については、生目台東小学校、生目台西小学校、生目台中学校の3校のPTA会長と、生目台地区自治会連合会会長から提出され、提言書は、生目台地域自治区地域協議会会長から提出されました。 要望書、提言書の内容としては、生目台地域では、児童数減少が進んでいることから、3校を統合した小中一貫校設置の検討をお願いしたいというものでした。これまで、生目台地区では、生目台東小学校、生目台西小学校、生目台中学校の3校のPTAが中心となり、今年の4月から6月にかけて、小中学校の保護者、地域住民を対象にした説明会やアンケートを実施されていました。その結果、小中学校の保護者においては、9割の世帯が「小学校の統合に賛成」、また8割が「小中一貫校の設立に賛成」でした。また、自治会においては、小中一貫校の設立について、8割の世帯が賛成との結果となり、生目台地区の意見がまとまったということから、今回の要望書と提言書の提出に至ったものです。 生目台地区の保護者と地域の方々の総意のもと、要望書と提言書をいただいたということを受けまして、市長と教育長から、「今後、地域の皆さんのご意見を伺いながら、検討していきたい」との回答をしたところです。説明は以上です。
西田教育長	本市の統廃合の考え方について企画総務課長から少し説明をしていただけませんか。
川邊企画総務課長	本市の統廃合の考え方としては、「宮崎市立小中学校の小規模化に対応した「魅力ある学校づくり」の考え方」としてまとめており、行政で積極的に統廃合は行わないとしております。小規模化した学校であっても、その学校の特色を生かした教育を行っていくこととしており、地域の方々からの要望があった場合には、それに応えていくこととしております。
西田教育長	ありがとうございます。 要望書、提言書の提出までの経緯として、企画総務課が、PTAや、自治会などの地域の方々との多くの協議を重ねて、今回の提出に至っています。 ただいまの報告に関して、ご質問はございませんか。

片山教育委員	宮崎市の小中一貫校の設置状況について教えてください。
川邊企画総務課長	宮崎市では、まだ小中一貫校は設置しておりません。
片山教育委員	私としては、中1ギャップという課題への対応としても、小中一貫校は魅力的だなと感じていました。様々な研修会などで、他県の市町村の教育委員の方と話をすることがあり、そのなかで、地域の中で小中一貫校を育てていくような取組をされている話を聞きました。子どもたちにとっても、6年生で最上級学年だからしっかりすることを求められて、中学一年生になると、また最下級生になってしまうので、自己肯定感という視点からも、影響する部分があるのかなと感じたところです。小中一貫校の設置というのは、地域の方が8割賛成されているということで、新しい風を吹かせていくモデルとしてはいいのかなと思ったところです。
川邊企画総務課長	教育委員会としては、小中一貫校の先進校等の視察や研究を重ねることや、施設面で可能な部分、不可能な部分など、様々な課題が出てくると思いますので、地域の方々や各課と連携して協議をしながら進めていきたいと考えています。
西田教育長	その他にご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、続いて、報告第41号「事故等の報告について」、報告第42号と、報告第43号の「専決処分の報告について」、ですが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開とします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除します。 次に、「5 その他」に移らせていただきます。 まず、『「未来の教室」教育講演会について』、事務局から報告をお願いします。
堀内教育情報研修センター所長	『「未来の教室」教育講演会について』説明します。 当初、夏に予定し、延期となっていました。12月21日に教育文化会館半九ホールを会場として実施することになりました。 当日は、経済産業省サービス政策課長の浅野大介様、そして、ICT活用教育アドバイザーの高井潤様、宮崎市教育委員会教育CIO、神野元基様を講師としてお招きします。 会の前半では、宮崎市版未来の教室の戦略デザインマップをもとに、タブレット活用における成果と課題についての意見交換を行いながら、学校の課題を考えていきます。その後、全国の先進的な事例を、経済産業省の浅野課長に紹介していただく予定にしています。また、会の後半では、ディスカッション形式で議論し、課題を共有しながら、各学校における未来の教室への方向性を見出していく予定としています。 お忙しい中とは思いますが、時間の許す限りご参加いただきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。 なお、教育委員の皆様にはお手数ですが、回答用紙をつけていますので、11月29日月曜日までに回答ください。
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。

西田教育長	他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	次回、定例教育委員会は、令和3年12月24日（金）、13時40分から開催したいと考えています。よろしくお願いします。
西田教育長	次回の定例教育委員会もよろしくお願いします。 続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	( 行事予定説明 )
西田教育長	以上をもちまして、第11回定例会を終了します。